

附表第二 燃料油消費調査表

品名	消費量	記	事
航空九七揮発油	三九四〇五		
航空礦油	一八、三五		

附録 電報発受信誌寫(第二天候偵察隊)

月日	着信者	発信者	受信時刻	信文
八二〇	本隊	陸偵	〇七〇六	沙市薄云、スリヤリ視界十五哩 〇七〇五
〃	〃	〃	〇七五二	恩宜下層云量三雲高二五〇〇米
〃	〃	〃		上層云量二雲高七〇〇米視界
〃	〃	〃		三〇哩飛行高度四〇〇〇米 〇七五〇
〃	〃	〃		涪州、天候恩宜ニ同ジ 〇八二〇
〃	〃	〃	〇八四一	重慶云量二雲高三五〇〇米視界

1905

ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
一三一〇		一二二一		一二〇一		〇九三〇		〇九一八	
重慶南方雲量八雲高六〇〇〇米	天候良し	涪州雲量三雲高四〇〇〇米進み從ヒ	視界二〇哩	恩宜雲量八雲高三〇〇〇一四〇〇〇米	偵察不能	重慶附近雲量刻々増シワタリ	視界二五哩	重慶雲量七雲高四〇〇〇米	三十哩
一三〇二	一二二〇		一二四四		〇九一五		〇九一〇		〇八三五
					一二二五漢口飯着、予定	西方及南方ハ雲量一〇一目標以外			

第三天候偵察隊

1906

ク	ク	ク	ク	収容隊	ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	本隊	収容隊	ク	ク	本隊	誘偵	尸強
ク	ク	ク	偵	偵	ク	ク	誘偵	尸強	誘偵
一七四七	一七〇五	一六五一	一六四二	一六三〇	一七三〇	一七二六	一五五一	一五二二	一三四四
八四〇漢口上空敵着ノ予定	掩護戦機隊敵途ニ就キシヤ	一六三〇戦機視界内ニテ敵途ニ就ク	一六三〇忠州戦機視界ニテ	一八一〇敵着ノ予定	一八一〇敵着ノ予定	一八二〇敵着ノ予定	空中敵機ヲ見敵途ニ就ク	空中戦開始セシヤ	我巫山
一七四〇	一七〇〇	一六四五	一六三七		一七二五	一七二〇	一五〇五		一三四〇

聯合空襲部隊戰鬪概報第八九號(八月二十日)拔萃

兼信者 聯合空襲部隊指揮官

着信者 支那方面艦隊長官

聯合空襲部隊機密第五二八番電二十日二三時一五分

一奥地攻撃手

(一)天候偵察隊

(1)陸偵一機の六三〇発進重慶偵察ヲ實施セリ 雲量多ク

廣陽壩ニ戦斗機五機ヲ認メタル外他飛行場ハ偵察

シ得ズ

(2)右天候ノ状況ヨリ更ニ陸偵一機ヲ一〇三〇発進シ重慶偵察ヲ

實施セリ重慶附近飛行場戦斗機十六機大型機三機

所在スルヲ偵察セリ

1910

(一) 艦攻二機。六四五発進。山岳地帯ノ天候ヲ偵察セリ

(二) 戦斗機隊(指揮官伊藤大尉)

零式艦戦十二機ハ陸偵二機ニ誘導セラレ一三一五宜昌発進
攻撃隊ニ隠密先行シ一四三五重慶ニ到達セルモ敵ハ三十分
前既ニ逃避シ空戦ヲ實施セズ重慶附近ヲ制空セリ

(三) 偵察隊

陸偵二機一〇〇ヨリ遂次白螺磯発進一三一五ヨリ一五三〇ノ間
重慶偵察ヲ實施シ攻撃隊及ビ戦斗隊ニ協同セリ

(四) 收容隊

誘導陸偵ノ燃料ヲ顧慮シ誘導陸偵ノ引継トシテ
陸偵一機ヲ涪州ニ派遣セル外中攻八機艦攻八機艦爆三機
水偵一機ヲ以テ昨日ト同様ニ實施セリ

(終)